

平成29年度 学校自己評価システムシート (県立吹上秋桜高等学校)

目指す学校像	生徒の新たなチャレンジをとことん支援し、可能性を伸ばす生徒応援学校
重点目標	1 「授業がいのち」を基盤とした基礎学力の定着 2 基本的生活習慣の確立と規範意識の涵養 3 キャリア教育の充実と個に応じた進路指導の実践 4 地域の関係機関と連携し、地域に根差し信頼される開かれた学校づくり

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4	名
	生徒	5	名
	事務局(教職員)	9	名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (2 月 1 5 日 現 在)			
年 度 目 標					評 価 項 目 の 達 成 状 況	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策		
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	達 成 度			
1	<p>・授業に熱心に取り組む生徒も多い反面、授業に出席しないために未履修、未修得に至る生徒も多い。授業の質の向上に努め授業の大切さを自覚させる指導が必要である。</p> <p>・生徒の基礎学力定着を図るため、学習習慣を身に付けさせる指導や生徒の実態に応じた適切な支援を行う必要がある。</p>	<p>○授業改善による基礎学力の向上</p> <p>○確かな学力を身に付けさせる教育課程の効果的運用</p>	<p>①欠課時数の多い生徒の情報共有をするとともに、特別に支援を要する生徒については授業担当者会を開催する。</p> <p>②定期的に教育課程委員会を開き、教育課程が効果的に運用できているかについて検証する。</p>	<p>①授業アンケート等を計画的に実施し、授業改善に役立てられたか。</p> <p>②未履修率が25%以下であったか。</p> <p>①学習の取り組みの実態を把握するためにアンケート等を実施し、検証することができたか。</p>	A	<p>・授業改善による基礎学力の向上については、概ね達成できた。未修得率は約10%減少し、成績優良者が増加傾向である。しかし、家庭学習の習慣の定着が課題である。</p> <p>・確かな学力を身に付けさせる教育課程の効果的な運用については、概ね達成できた。前期における未履修率は約22%で、昨年と同水準であった。</p>	<p>・各教科の授業の導入期での指導を丁寧に行い、スムーズに学習できるように指導を継続させていく。</p> <p>・授業改善に関する校内研修を実施することができた。次年度は、授業参観週間を設けるなど、新しい試みを取り入れたい。</p> <p>・教育課程については、引き続き効果を検証していきたい。</p>	
2	<p>・様々な学習歴から、基本的な生活習慣が確立されず、欠席・遅刻・早退の多い生徒もいる。充実した学校生活を過ごせるように、相談体制の一層の確立と保護者や外部機関との積極的な連携の実践が求められている。</p> <p>・規範意識が確立されていない生徒もいる。問題行動の未然防止を図り、集団生活におけるルールやマナーを育むために、様々な場面で全教職員による生活指導に取り組む必要がある。</p>	<p>○全教職員による粘り強く積極的な生活指導の充実</p> <p>○校内の教育相談環境の整備と外部機関と連携した体制の充実</p>	<p>①各年次と連携を図り、学校全体で組織的な生徒指導を展開する。</p> <p>②立番、巡回指導を実施し、挨拶を励行する。</p> <p>③正門付近の花植えと学校周辺のゴミ拾いを実施する。</p> <p>①教育相談委員会の会議を定例化させ、年次からの情報共有に努め、また、必要に応じて地域の外部機関との連携を深める。</p> <p>②「個」の支援について職員が学ぶ場を設定する。</p>	<p>①生徒特別指導件数が昨年度より減少したか。</p> <p>②遅刻・早退・欠席の数が昨年度より減少したか。</p> <p>③生徒が充実感を持って高校生活を過ごせたか。</p> <p>①月1回教育相談委員会を開催し、学校全体で情報を共有し、具体的な支援を考えることができたか。</p> <p>②「個」の支援について研修の場を設定できたか。</p>	A	<p>・本年度は「命の大切さを学ぶ教室」を行い、人間としてのあり方・生き方を考えさせた。次年度も継続させていきたい。</p> <p>・整容指導の方法については、3年次のフォーマルDayの取組の成果と課題を明確にし、生活指導の充実をめざしたい。</p> <p>・次年度から教育相談部を設立する。より細かい生徒へのアプローチをし、「個」の支援をさらに学校全体で組織的にやりたい。</p>	<p>生徒指導は学校教育の根幹をなす大切なものであるが、ほとんどの生徒は規範意識をしっかりと身に付けているように見受けられる。交通ルール等もよく守られており、学校の教育活動の成果だと考えられる。</p> <p>落ち着きの中に活気があり、学校全体として着実に前進しているように見受けられる。</p> <p>今後は今まで以上に年次の壁を超え、ベクトルを合わせた指導に注力されることを期待している。また、「いのちの教室」については、今後とも実施して行ってほしい。</p>	
3	<p>・進路意識に差があり、計画的な高校生活を過ごせない生徒もいる。社会に繋げるためにも、進路意識と自信を持たせ、進路決定に必要な基礎学力と共にコミュニケーション能力などの社会性を育むキャリア教育の段階的な指導の充実が必要である。</p>	<p>○産社、総学とLHRを活用したキャリア教育の充実</p> <p>○コスモスステップによる基礎学力の向上、進路意識の向上</p>	<p>①本校の産社・総学の基本方針を含めたキャリア教育のプランを見直しさらなる充実を図る。</p> <p>①学力向上推進委員会と年次を中心に、コスモスステップを計画的に実施する。</p>	<p>①産社・総学委員会を開催し、本校のキャリア教育プランの見直しを図られたか。</p> <p>①生徒の「学び直し」を支援することができたか。</p>	A	<p>・産社、総学とLHRを活用したキャリア教育の充実について、概ね達成できた。本校のキャリア教育プランを策定し、ゴールイメージを明確にして指導をすることができた。</p> <p>・コスモスステップについては、概ね達成できた。1年次「学び直し」を行い、苦手分野が克服できた。</p>	<p>・キャリア教育プランに則った計画を各年次で立案し、生徒の進路意識を向上させる内容としたい。またサボステとも4月より計画的に連携を図りたい。</p> <p>・教材の改善や指導方法の改善を図りたい。成果が現れなかった分野については現在分析中である。</p>	
4	<p>・地域・中学校・保護者に本校の教育活動に対する理解をより深めてもらう必要がある。学校説明会やHPで本校の特色を情報発信するとともに、緊急時対応や情報提供のためにメール連絡網加入率を高める必要がある。</p> <p>・ボランティア活動や地域連携行事は、生徒の貴重な体験活動の場として多くの生徒が参加している。これらをさらに発展させるために、地域の関係機関やPTAと連携した取組を進め、地域に開かれた学校づくりを目指す必要がある。</p>	<p>○HPを活用した教育活動の積極的な情報発信とメール連絡網による緊急連絡と広報活動の推進</p> <p>○地域の関係機関や保護者と連携した諸事業の推進</p>	<p>①HPに本校の教育活動を多く掲載し、計画的に更新する。</p> <p>②学校説明会での資料や生徒の体験発表について検討し、分かりやすく作成する。</p> <p>①PTA・後援会行事の日程・連絡方法を工夫することで、積極的な参加を呼びかける。</p> <p>②保護者へ文化祭や体育祭への協力を求め、生徒とともに行事を作り上げる。</p> <p>③ボランティア活動等への生徒の積極的な参加を促す。</p>	<p>①ホームページのアクセス件数が10万件を超えることができたか。</p> <p>②説明会や体験入学等の参加アンケートで、中学生・保護者の満足度が向上したか。</p> <p>①メール連絡網を通して、保護者にPTA行事等への案内を確実にし、参加者数を増やすことができたか。</p> <p>②学校行事へ保護者が参加し、生徒への支援ができたか。</p> <p>③ボランティアの参加者数が増え、社会貢献することの意義を学ぶことができたか。</p>	B	<p>・広報活動の推進については、昨年度より情報の発信を試みたものの、課題が残った。HPのアクセス数は約20%減少した。しかし、メール連絡網については、学校行事やPTAの連絡等の場面で活用できた。</p> <p>・地域や保護者との連携については概ね達成できた。文化祭ではバザーを行い来場者に好評であった。保護者の参加数は昨年とほぼ同じである。</p> <p>また、ボランティアの希望者数は減少したが、生徒の取組状況は良好であった。</p>	<p>・学校行事等の発信については、係を中心に迅速にアップし、情報を発信することができた。しかし、部活動については更新ができていないところもあるので、多くの情報を発信できるように努める。</p> <p>・メール連絡網の登録方法について、保護者から問い合わせが寄せられた。次年度からは「スマート連絡網」を導入し、スムーズな登録ができるようにする。</p> <p>・ボランティアの成果を共有する場をつくり、部活動等の単位で活動に参加できる雰囲気を醸成する。</p>	<p>地域の中での評価は良好である。地域・保護者・学校が緊密に連携を図り、生徒の意欲を喚起する取組を一層充実させることが大切である。</p> <p>また、地域では防災訓練を行っており、高校生ボランティアとして生徒の参加を促し、地域とともに歩む学校づくりを目指して行ってほしい。</p>

学校関係者評価
実施日 平成30年2月27日
学校関係者からの意見・要望・評価等

